

研究成果を生かした新たな資源管理の取組み

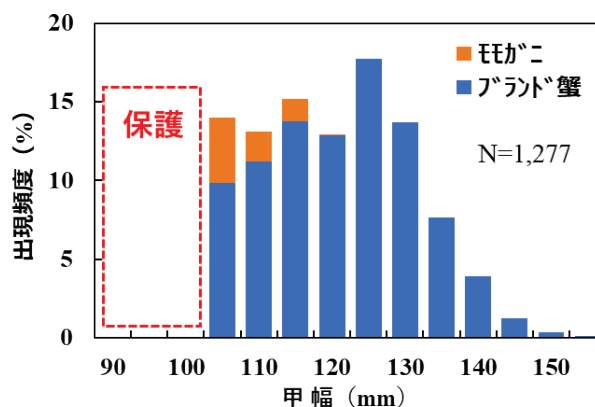
令和 6 年度ズワイガニ漁が 3 月 20 日に終了し、漁獲量は雄ガニ 36.9 トン(前年度比 103%)、雌ガニ 22.4 トン(同 102%)でした。当センターでは資源評価調査の一環で、毎年水揚市場で雄ガニの甲幅測定を行っています。雄ガニは農林水産省令により甲幅 90 mm 未満の漁獲が禁止されていますが、漁業者の自主規制により前年度漁期からは甲幅 100 mm 未満、今年度漁期からは 105 mm 未満の雄ガニの漁獲が禁止となりました(下図)。

この取り組みは当センターが実施した研究課題「ブランド蟹の安定供給に向けた資源管理手法の確立(R2-R4)」の成果に基づき実践されました。研究成果の一部は日本水産学会誌に掲載され、学術的にも評価された成果が現場で実践された事例となりました。甲幅 105 mm 未満の漁獲制限は、これまで漁獲されていたモモガニ※の約 60%(R1-R4 平均値)の保護につながり、この取組みにより、今後、より大型のブランド蟹の安定的な漁獲が期待できます。

※モモガニ:脱皮・成長途上にある未成熟な雄ガニ。市場価格はブランド蟹の約 20%



市場で厳しく選別されるブランド蟹



水揚げされた雄ガニの甲幅組成